

かゑらじと かねて思へハ 梓弓

なき数に入る 名をぞとどむる

四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第131号

令和3年7月13日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

7/10 晴れて第8回楠正行シンポジウム開催

白馬にまたがる楠正行像(150号)完成!

＝ 市民総合センター市民ホールに80名を迎えて ＝

● **ライブペインティング楠正行** ●

7月10日(土)午後2時から、四條畷市市民総合センター市民ホールで、6組の親子ファミリーを含む約80名の来場者を迎えて、第8回楠正行シンポジウム「ライブペインティング楠正行」を開催しました。

シンポジウムの第1部は、令和1年12月に公募した「楠正行に関する研究論文募集」で入賞された3名の方をお招きして表彰式を行いました。

また第2部は、絵本作家・四條畷市PR大使の谷口智則さんを講師に迎え、「ライブペインティング楠正行」と題して、150号(1818ミリ×2273mm)もの大キャンパスいっばいに楠正行の肖像画を描いていただきました。

コロナ禍の中、検温や手指消毒、座席間のソーシャルディスタンス等、対策に万全を期して開催を致しましたが、ご参加いただきました市民、ご来賓の皆様ご協力ありがとうございました。

論文表彰式

午後1時30分開場とともに、家族連れの子どもたちを含む来場者が次々と集まり、各来場者は席の間隔に気を配りながら、席を空け、前の人と重ならないように着席くださいました。

国府文江さんの司会で始まり、扇谷の開会挨拶、林有理副市長の来賓代表挨拶、来賓紹介に続き、河内長野市

島田市長からのメッセージ披露、観心寺永島住職から表彰記念品と「楠公さんのお守り」寄贈の披露があり、1部の表彰式に移りました。



この日、表彰させていただいたのは以下の方々です。

(写真:扇谷代表から廣木氏に最優秀賞を手渡す)

○最優秀賞・・・**廣木双葉氏**(東京都江戸川区)

新しい楠正行像を紡ぐ点と線 一楠正行にまつわる寺社、系譜と叙位記録

○優良賞・・・**藤岡巧一氏**(四條畷市)

「楠公精神」における楠正行の存在を考える

○審査会奨励賞・・・**西村朋子氏**(大阪市住吉区)

楠正行の魅力 ～忠臣伝説を越えて～

ライブペインティング

2部のライブペインティングは、市民ホールの壇上に真っ黒に塗られた150号の大キャンパスが置かれ、谷口智則さんが白い筆を入れる





ところからスタート。

果たして、いったいどのような楠正行が描かれるのか、大人はもちろんのこと、子どもたちも興味津々で待ち構えること5分もすると、会場からは「馬や!」と、子どもの歓声。

谷口さんは、普段描く動物画ではなく、人物画に子どもたちがどのような反応を示すか大変プレッシャーを感じておりましたが、さすがですね。子どもたちが安心して観てくれるようにと、キャンパス中央に白馬が登場したのです。

「次は何が描かれるのか」と、会場の子もたちも目を凝らして、おしゃべりすることもなく、谷口さんの筆の運びに合わせて視線を動かしていました。

扇谷は、谷口さんのライブペインティング中、楠正行という人物が一体どのような人物で、どのような生涯を送ったかといったナレーションを語りましたが、この白馬の歓声の速さにびっくりしました。会場に向かってナレーションを語りながら、谷口さんのキャンパスに目を向けると、びっくり、もう白馬が完成していました。

そして、予定を上回るスピードで絵は仕上がり、ここに、四條畷の楠正行像の完成です。

飯盛山を背景に、朝日を浴びて、駆ける白馬にまたがった楠正行が、飛んでくる矢をもろともせず、「未来」に向かってしっかり前を見ている勇士として描かれました。

完成後、扇谷から今回の絵に込められた谷口さんの思いなどを伺いました。

谷口さんは、開口一番「多くの子どもたちが参加してくれて本当にうれしいです。」とおっしゃり、「この絵は



四條畷の合戦で亡くなった正行を描いたのではなく、希望のある未来に向かって突き進んでいく正行を描きました。」と。そして、「この絵をきっかけに、多くの子ども

が郷土ゆかりの楠正行に関心を持ち、学んでくれることを願っています。」と締めくくられました。

完成した絵を背景に、参加した子どもたちと谷口さんの記念撮影が行われましたが、緊張感からはしゃぐ子どももおらず、絵の前にきれいに一列に整列して並んでくれました。

この後、真木副代表の閉会挨拶ですべてのプロ

グラムは終了しました。

終了後、市民ホール入り口で谷口智則さんの絵本サイン会を行いました。早速、多くの子どもたちが絵本をもって並び、谷口さんにイラスト入りオリジナルのサインをしていただきました。

なお、完成した150号キャンパス「楠正行」は、四條畷市と協議の上、市民の皆様に見ていただける施設に掲示の予定です。乞う、ご期待ください。(写真:上左 制作中の谷口さん、上右 完成して中央 子どもたちと記念撮影 右下 完成した楠正行を背景にスタッフ一同)

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)

